



2024年4月30日

報道関係者各位

慶應義塾大学

慶應義塾大学アート・センター主催  
「アート・アーカイヴ資料展 XXVI 飯田善國 —— 時間の風景」  
開催 (2024. 5. 27 - 7. 26)

慶應義塾大学三田キャンパスの図書館入口にたつ彫刻《知識の花弁》を制作した作家で、卒業生でもある飯田善國（1923-2006）の展覧会を開催します。飯田がプロデューサーとしても手腕を発揮した、1970年の万博へとつながる「国際鉄鋼彫刻シンポジウム」について、アート・センターが所管する資料を中心に紹介いたします。さらに慶應義塾との関係についても触れた展示を行う予定です。飯田が学生時代を送った三田で、時間を重ねた風景の中で飯田善國に出会っていただけたら幸いです。

## 1. 基本情報

会 期： 2024年5月27日（月）～7月26日（金） 土日・祝日休館  
開館時間： 11：00～18：00  
会 場： 慶應義塾大学アート・センター（三田キャンパス南別館1階アート・スペース）  
入 場： 無料  
主 催： 慶應義塾大学アート・センター  
W E B： <http://www.art-c.keio.ac.jp/news-events/event-archive/artarchive26/>

※ 最新情報は上記、展覧会ウェブサイトをご確認ください。

## 2. 展覧会概要

彫刻家の飯田善國（1923-2006）は、色とりどりのロープとステンレスを組み合わせた立体作品や、周囲の風景を映しながら動くステンレスのモニュメンタルな作品で知られる彫刻家です。彼は、はじめ画家としてキャリアをスタートさせましたが、1956年に渡欧した際、ローマで彫刻家のペリクレ・ファッツィーニ（1913-1987）に師事したことなどをきっかけに、彫刻家の道を歩むこととなります。飯田はその後ウィーンとベルリンを中心に活動し、木や石を素材とした彫刻を発表しています。1967年、日本に帰国した飯田は、それに前後して自らの制作における中心的な素材として金属を選択し、ステンレス・スチールの鏡面を巧みに利用した作品を作るようになりました。そこには風の力によって動く彫刻というような、当時の先端的な発想も取り入れられ、また色彩をもったロープなどをステンレスの立体に組み合わせることで、独自の世界を生み出すこととなります。

本展では所管するアーカイヴの中から、飯田がプロデューサーとして腕を振るった1969年の「国際鉄鋼彫刻シンポジウム」に関する資料を展示します。このシンポジウムでは招聘された各国の芸術家が、鉄工所の協力を得ながら現代を象徴する素材である鉄を用いた作品を制作しました。これらの作品は、文明の最先端を示すと同時にそれに対する批判も含むという意義を有するだけでなく、翌年

に大阪で開催された万国博覧会の会場に設置されたという意味においても、戦後現代美術の展開に大きな足跡を残しました。本展では、当時の飯田や他の芸術家の様子を、写真を中心に振り返ります。

また、飯田が鉄鋼シンポジウムに際して制作した《時間の風景》——本展のタイトルもそこから取られています——のような、飯田自身が「ミラー・モバイル」と名付けた鏡面ステンレスによる「動く彫刻」作品はその後日本の各地に設置されており、慶應義塾大学三田キャンパスにも《知識の花弁》（1981）や《星への信号》（1984）といった作品が残されています。時代の異なる作品が見せる時間の流れが、飯田が学生時代を過ごしたキャンパスの経た時間と輻輳的に重なり合うことで生まれる新たな風景の中で、飯田善國に出会っていただけたら幸いです。

### 3. 広報画像と展示予定作品

- a. 展覧会メインビジュアル 提供：慶應義塾大学アート・センター
- b. 「国際鉄鋼彫刻シンポジウム」準備の様子（1969） 提供：慶應義塾大学アート・センター／撮影：石川明弘
- c. 「国際鉄鋼彫刻シンポジウム」準備の様子（1969） 提供：慶應義塾大学アート・センター／撮影：石川明弘
- d. 「国際鉄鋼彫刻シンポジウム」準備の様子（1969） 提供：慶應義塾大学アート・センター／撮影：石川明弘
- e. 「光の糸が見える——飯田善國展」準備の様子（1994） 提供：慶應義塾／撮影：畔田藤治
- f. 「光の糸が見える——飯田善國展」準備の様子（1994） 提供：慶應義塾／撮影：畔田藤治
- g. 飯田善國展《知識の花弁》（1981） 提供：慶應義塾大学アート・センター／撮影：村松桂（株式会社カロワークス）
- h. 飯田善國展《星への信号》（1984） 提供：慶應義塾大学アート・センター／撮影：村松桂（株式会社カロワークス）
- i. 飯田善國展《無題》（1978頃） 提供：慶應義塾大学アート・センター／撮影：村松桂（株式会社カロワークス）

※ 実際の展示作品とは異なる場合がございます。ご了承ください。

※ 画像を利用する際には、クレジットをおつけください。



a.



b.



c.



d.



e.



f.



g.



h.



i.

#### 4. 関連イベント

##### 講演会

日時：2024年6月29日（土）15:00より

登壇者：横田 茂（YOKOTA TOKYO 取締役／特定非営利活動法人 Japan Cultural Research Institute 理事長）  
前田 富士男（慶應義塾大学名誉教授）

##### ギャラリートーク

会期中にギャラリートークを開催予定です。詳細が決定次第ウェブサイトに掲載いたします。

※ 予定は予告なく変更されることがあります。

※ 詳細は展覧会ウェブサイトですら順次公開いたします。

<http://www.art-c.keio.ac.jp/news-events/event-archive/artarchive26/>

#### 5. 会場案内

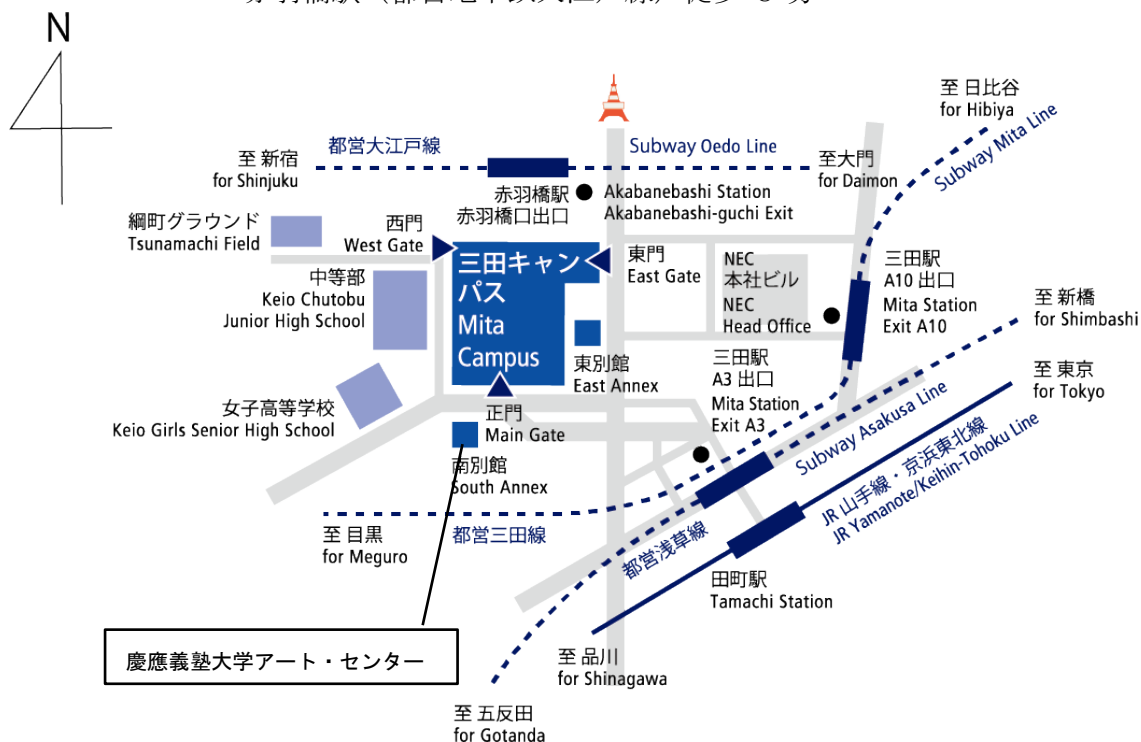
会 場：慶應義塾大学アート・センター（三田キャンパス南別館 1 階アート・スペース）

住 所：〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45

交通アクセス：田 町 駅（JR 山手線／JR 京浜東北線）徒歩 8 分

三 田 駅（都営地下鉄浅草線／都営地下鉄三田線）徒歩 7 分

赤羽橋駅（都営地下鉄大江戸線）徒歩 8 分



※ ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※ 本リリースは文部科学記者会、各社社会部、文化部等に送信させていただいております。

【本発表資料のお問い合わせ先】

慶應義塾広報室（若原）

TEL：03-5427-1541 FAX：03-5441-7640

E-mail：m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>